

## 守田市長定例記者会見の概要

平成 29 年 9 月 26 日（火）

於：宇城市役所 2 階庁議室

### 《冒頭発言》

こんにちは。宇城市長の守田憲史でございます。

宇城市では、昨年の熊本地震後の復旧・復興の状況や地方創生に向けた取り組みなど、これまで以上に積極的な情報発信に努めてまいります。

この取り組みの一環として本日、記者会見を開催させていただきました。本年 2 月の就任会見以降、久しぶりの会見でございますので、不慣れな点もあるかと思いますが、どうぞよろしく願い申し上げます。

### 《報道発表》

早速ですが、本日、私からの発表案件は全部で 5 件ございます。

- ① 「三角西港の築港 130 周年記念事業」の開催
- ② 熊本地震における災害復旧工事の進捗状況
- ③ 災害公営住宅の整備に向けた進捗状況
- ④ 防災コミュニティセンター(仮称)の整備
- ⑤ 津波防災訓練の実施

これらにつきまして、順番に発表させていただきます。

### 【「三角西港の築港 130 周年記念事業」の開催】

まず初めに、「三角西港築港 130 周年記念事業」についてお知らせします。

三角西港は、明治政府の国策として 1887 (明治 20) 年に開港し、今年、築港 130 周年を迎えました。このため、本市では 10 月を「築港 130 周年記念月間」として、さまざまなイベントを行い、本市の観光振興と地域振興を促進してまいります。

10 月 1 日（日）午後 6 時から、三角西港において、熊本県副知事や地元選出県議会議員、その他ご来賓をお招きし、オープニングセレモニーを開催します。このセレモニーでは、「明治日本の産業革命遺産」の 23 施設共通の記念碑

の除幕式を行い、その後、世界的にも著名な空間演出デザイナーで、熊本市出身の仁木洋子氏が監修した、浦島屋一体をライトアップする点灯式を行い、幻想的な夜間空間を演出します。

点灯式終了後には報道機関の皆さま向けに、ライトアップされた西港を海から眺めるナイトクルーズの運行も予定されておりますので、ぜひご利用いただきたいと思っております。なお、ナイトクルーズは、一般客向けに10月の毎週土曜日限定の運行を予定しております。

また、期間中には、国内クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が三角西港沖に、「にっぽん丸」が三角東港へ寄港する予定となっております。その他、西港内の店舗では、期間限定メニューを準備し、夜間延長して営業を行います。

このように、期間中は、ご家族からご友人の皆さまなどにお楽しみいただけるイベントを多数用意しております。ぜひ、多くの皆さまにお越しいただきたいと考えています。

本イベントの詳細については、企画部まちづくり観光課にお問い合わせください。

#### 【熊本地震における災害復旧工事の進捗状況】

2件目でございます。

平成28年熊本地震における本市の災害復旧工事の進捗について主な施設の状況を説明します。

まず、庁舎等公共施設については、総数11件、被害総額1億5,800万円でしたが、本年8月18日までに、本庁舎を除く10施設の復旧工事が完了しました。なお、未完了の本庁舎についても、平成32年3月頃には完了予定です。

次に農地及び農業用施設等の状況です。総数24件、被害総額1億8,400万円、本年9月19日までに既に全ての工事が完了しております。

次に、道路や河川・橋梁の状況です。道路93件、河川47件、橋梁1件の総数141件の被害が発生しており、被害総額は11億4,500万円となっております。工事の進捗状況は、141件のうち、完了したものが108件となっております。なお、橋梁の1件は既に工事が完了しており、道路・河川についても平成29年度中の工事完了を目指して、工事を進めているところです。

次に、上下水道関係の状況です。上水道の被害が総数54件、総額2,060万円、簡易水道の被害が総数4件、被害総額100万円、計58件2,160万円でしたが、平成28年度末までに全ての工事が完了しています。また、下水道は総数3件、被害総額6,300万円のうち、完了済みが1件、残りの2件も平成29年度中には完了予定となっております。

次に、教育施設の状況です。総数36件、被害総額が6億2,400万円のうち、

現在29件が完了しており、平成30年2月末頃には全ての工事が完了予定となっています。

最後に、公費解体につきましては報道資料の次のページになります。宇城市は熊本市、益城町に次いで申請の絶対数が多く、申請棟数2,422件に対し、8月末の解体件数が2,025件、進捗率は83.6%となっております。しかしながらこの解体件数、絶対数が多いところを見ていただきたいと思います。

なお、公費解体は今年12月中には終了予定です。

その他の施設の状況については、総務部市長政策室にお問い合わせください。

### 【災害公営住宅の整備に向けた進捗状況】

3件目でございます。

本市における災害公営住宅の整備に向けた進捗状況についてご説明します。

建設予定戸数は、昨年9月に被災者に対して実施したアンケート調査結果をもとに「100戸」の建設を計画しています。建設方法については、本市は今年2月に「UR都市機構」と災害公営住宅の整備に係る基本協定を締結しました。このURが建設した災害公営住宅を市が購入する、いわゆる「買い取り方式」による事業を進めているところです。

URによる建設は、まず市が所有する土地の松橋町大野地区30戸と豊野町響原（ひびきがはら）地区20戸を予定しています。UR建設以外については「民間事業者等による、土地と建物を一体とした提案」により建設を進めることとしており、完成予定は、平成30年度末を目標に進めています。

現在2回目のアンケート調査を行っていますが、入居希望が増加している状況ですので、100戸以上の建設が必要と考えています。

その他、災害公営住宅の詳細については、土木部都市整備課にお問い合わせください。

### 【防災コミュニティセンター(仮称)の整備】

4件目でございます。

熊本地震後の復興に向けた取り組みの一つとして、旧町（三角町、不知火町、松橋町、小川町、豊野町）全5地区に防災コミュニティセンター(仮称)を建設することとし、本年度から設計に着手します。

この施設は、熊本地震を教訓として、将来、台風・豪雨・地震等の自然災害が発生した場合に、市民が迅速に避難でき、一定期間、安心・安全に生活できるよう、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対応した愛着のある施設として、

平成31年度末までに整備するものです。

施設の特徴は、避難所機能として調理室、シャワー、更衣室などが完備され、高齢者など要援護者の支援対策として、バリアフリーや授乳室などのプライバシー空間、そのほかには防災倉庫、手動井戸、非常用電源、マンホールトイレなどの附帯施設が備わった施設として考えています。耐震機能は、通常の施設の25%以上の耐震力を備えています。

有事の際、「あそこへ行けば・・・」と市民の安心・安全が確保できる施設として整備してまいります。

その他、本施設の詳細につきましては、総務部公共施設マネジメント課までお問い合わせください。

### 【津波防災訓練の実施】

5件目でございます。

本市では、11月5日午前8時30分より、三角町において「津波防災訓練」を実施します。市としては初めて実施する訓練です。

この訓練は、自分とその家族の身を守る「自助」、地域で共に助け合う「共助」の大切さを認識し、災害時に適切な行動ができるよう「実践的」な訓練を実施することで、災害時の行動について学び、地域の防災力の向上を図ることを目的としています。

11月5日午前8時30分に宇城市を震源とする大地震により、建物損壊などの甚大な被害が発生し、その後、大津波警報が発令されたことを想定した訓練を行います。地震発災による三角町内全域での最寄りの避難所等への避難訓練に始まり、三角地区生涯学習センター（旧三角中学校）をメイン会場とし、三角センター、三角東港広場においても、行政機関や消防団等の関係機関が連携した、避難所の運営訓練などを行います。

また、この訓練には、熊本県警察、宇城広域連合消防本部、熊本海上保安部、市内医療機関、消防団など各種団体が参加し、防災消防航空隊の防災消防ヘリ「ひばり」が実際に校舎の屋上からの要救助者の救助やヘリからの散水を行う予定です。また、メイン会場では瓦礫(がれき)からの救助訓練や煙体験、消防ホースでの放水訓練など、実際に体験できる訓練を多数用意していますので、ぜひ多くの皆さまにご参加いただきたいと思います。

なお、本訓練の詳細については、総務部危機管理課にお問い合わせください。

私からの発表は以上でございます。その他の配布資料「まっちゃん歩き&めっちゃんシンポジウム」、「食とモノの祭典」の詳細につきましては、各担当課へお問い合わせください。

## 【合併特例債の弾力的運用に関する要望】

なお、本日の発表案件にはございませんが、一点、皆さまにご報告させていただきます。

本市では、昨年4月に発生した熊本地震等の影響により、現在、災害復旧事業を優先的に取り組んでおります。

熊本地震の影響により当初予定していた新市建設計画に基づく公共事業、本来の公共事業(道路、橋りょう等)が大幅に遅れる可能性が高くなっており、本市の合併特例債の発行期限の平成31年度末までに、合併特例債に係る事業が完了できない見込みであります。そのため、九州市長会や熊本県等を通じて、この合併特例債の発行期間の延長について、特例措置を講じるよう国へ要望しておりますが、9月29日、宇城市としてあらためてこの合併特例債の発行期限を弾力的運用ができるように、独自に要望活動を行うこととなりましたので、お知らせいたします。宇城市の財政にとっては、大変大きな問題でございます。

私からは、以上でございます。

## 《質疑応答》

### 【「三角西港築港130周年記念事業」について①】

問 大きく2つについてお伺いしたいと思います。まず、三角西港築港130周年記念事業についてですが、こうした取り組みをされる狙いですとか、市として期待される効果についてお考えを伺いたいと思います。それともう一つは、災害公営住宅の建設に関してですが、民間事業者からの提案公募による建設もありますが、戸数や、予定どおり確保できる見込みなのかどうか、そのあたりの状況について少しお聞かせいただきたいと思います。

答 はい、三角西港築港130周年記念イベントの件ですが、130周年という契機を利用することで、世界文化遺産登録となった時と同じように、その価値を追求して市民が誇りと思えるような三角西港にすることです。地震によって、観光客が激減いたしました。我々はその復活を図らなければなりません。そのためにも今回、空間演出の専門家で、熊本出身の方を招聘させていただき、ライティングの演出をお願いしたところです。是非、また多くの観光客の方においでいただきたいと思います。

もう一つは、災害公営住宅の建設に関する民間事業者等の提案の件についてですが、この9月28日に行われる選定委員会の結果次第です。もし、今回の提案で予定戸数が確保できない場合でも、第2回目の提案を募集するなどして、確保しようと考えております。

問 先程三角西港への観光客が地震によって激減したとのお話がありました。震災前はどれぐらいの人数・集客があって、震災以後どれぐらいで、今回この月間でどれぐらいの集客を見込んでいるのか、その数字の上でお聞かせいただければと思うのですけれども、いかがでしょうか。

答 (事務方) 企画部長の岩清水と申します。今回の130周年の記念イベントにおける集客の目標値ですが、先程ありましたように、27年が世界遺産の登録で前年の1.6倍に観光客が増えました。ところが、翌28年、昨年ですが、ご存じのように熊本地震の影響で、登録の前年をさらに割り込んで少なくなった状況です。今年の130周年を契機としまして、観光客を27年の登録時並みに呼び戻すことが目標でございます。具体的には、27年10月の入り込み客が約6万人だったと記憶しております。翌年が半分以下になっていますので、今回は10月のこの1カ月間で8万人を目指したいと考えております。

ちなみに、年度別の観光客数を申しますと、平成27年が世界遺産の登録ですが、その前年の26年が年間33万人、27年、登録の年が52万人でした。それから、28年が31万人となっています。以上でございます。

問 この西港の記念事業の中で、夜間ライトアップとかナイトクルーズとか、夜に関連付けたイベントをされる狙いみたいなものがありましたら、教えていただければと思います。

答 (事務方) 企画部長です。以前から西港、夜の夜景は素晴らしい、との観光客からのお声をいただいております。もちろん地元にお住まいの方も、夜の西港は結構魅力的だとの話もございました。そこで、今回、ライティングの監修をいただいた仁木洋子様とのつながりもございまして、是非この夜の西港の魅力を皆さんにも知っていただきたいと、ライティングによる夜の西港の魅力を発信することになった次第です。

答 今、結婚式の写真、前撮りでもかなり三角西港が利用されておりますが、これは昼間でございます。夜の西港もとても綺麗との評判もありますので、このライティングで魅力をさらに高め、それをまた、クルーズ船で海から見ていただくことで、今後、リピーターを増やしていきたい、このような考え

でございます。

#### 【災害公営住宅の整備に向けた進捗状況】

問 この民間事業者において、公募の件ですけど、この50戸の地区ごとの内訳ですとか、30年度末の完成に向けて今後予定されている手続き、スケジュールそのあたりを少し教えていただければと思います。

答 （事務方）土木部長の成田でございます。災害公営住宅の地区ごとの計画ですが、まず、豊野町に20戸、松橋町に50戸、小川町に20戸、不知火町に10戸、今現在で合計100戸を予定しております。今後のスケジュールでございますが、今は第2回目のアンケート調査を行っており、入居希望の戸数も増えております。

今後、民間事業者によります選定委員会、そこで残りの50戸を予定しておりますが、それ以上に増えておりますので、第2回目の提案を募集して、それから、設計・建設を行う流れになります。最終完了予定では平成30年度末を、両方とも、民間もURの災害公営住宅も30年度末を建設完了として予定をしております。

問 確か先程、最初の説明でURでの建設が松橋30、豊野20であったと思うのですが、その他の民間からの提案公募で50戸されるとのことで、その内訳を教えてください。

答 （事務方）民間の提案の建設ですが、7カ所、今申請戸数が99戸といった状況であります。

答 今から、そのプロポーザルによる選定になるため、場所につきましては発表を遠慮させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

#### 【防災コミュニティセンター(仮称)の整備】

問 防災コミュニティセンターですが、平常時は通常通りのコミュニティセンター、公民館として使うものに、特に避難所機能を充実させたもの、という理解でよろしいでしょうか。これが1点ともう1点、総工費のところは具体的な額が書いてないのですが、今年度は基本設計分が予算計上されているということで、あと総工費についてですね。現在分かっている範囲で、ざっく

りで結構なのですが、何億円、また、何十億円程度ぐらい、出していただければありがたいのですが。

答 防災コミュニティセンターはあくまでも防災のための施設でございます。しかしながら、平時としては防災会議室等として使わせていただきたいと考えております。実際、この起債のかなり有利な条件がございますので、シャワーから、避難所、バリアフリーその他徹底した形で作らせていただきながら、公民館というわけではございませんが、平時は使える限り、防災などの会議その他で今後使わせていただきたい、そのように考えております。また逆に、宇城市は今、5つの町が合併しまして、5つの施設がございますが、国がなかなかそこまでは面倒を見ていただけません。もう、建設から40年、50年の建物もかなりありまして、今後、そこは整理しなければなりません。その中で、スクラップアンドビルドと我々は言うておりますが、その中で、もし兼用できるものがあるならば積極的に使わせていただきますが、あくまでもこれは防災のための避難施設でございます。

答 5カ所のため数十億に、数億円かける5になります。ただし、これは国、県の有利な起債の中で建設することとなっており、実際、現在の施設も相当地震によっても傷んでおりますので、できる限りの大風呂敷でお願いはしているところでございまして、まだ、国、県からのお答えはいただいております。

問 今年度は、設計費用のみでしょうか。

答 (事務方) 総務部の公共施設マネジメント課長の元田といいます。今年度は、7,000万円で基本設計を実施する予定です。

#### 【合併特例債の発行期限の弾力的運用に関する国への要望】

問 いちばん最後におっしゃった、新市建設計画に基づく公共事業が遅れてるいとのことで、もう少し具体的に、先程の話では具体的にはなっていないかもしれませんが、平成31年度末までに、完成が終わらないかもしれない事業がどれで、分かれば何件とか、予算でどれぐらいの件数が31年度末には終わってない可能性があるのか、幾つかの自治体と一緒に合同で合併特例債の適用の延長を求めたとのことですが、それは、どこと、いつ、そのような要請をしたのか教えてください。それと、独自に申し入れをするとのことですが、どこに対してするのでしょうか。以上、お願いします。

答 どの工事がどれだけ遅れているかについては、担当課に確認いただきたいと思いますが、大きな工事の中で、発注しても不落が続いておりまして、今後もまた不落が続くかもしれない云々となりますと、まだまだ、その金額が大きくなりつつありますので、今の段階では、どこがどうか、後で担当課に聞いていただきたいと思います。

今、復旧工事でもだいぶ遅れておりますので、その中で本来の、合併特例債、長崎久具線から色々なところの、5大プロジェクトのうちの2つ3つは遅れているところではございます。

実際のところ、今回の熊本地震は、熊本市、益城町、宇城市はじめ、熊本県では全体ではありませんで、一部でございます。その中で、合併特例債があるところといいますと、熊本市もありますが、熊本市は逐一合併していますので、合併特例債の期限が延びております。

その他の市町村では、例えば宇土市、益城町、御船町、甲佐町は、これは合併しておりません。では合併した市町はといいますと、宇城市、南阿蘇村、阿蘇市になります。その中で、あちら北側はですね、過疎債があります。したがって相当有利な元々の起債が発行可能ですが、宇城市にとってはなかなか、ここが厳しいところです。

本市には、三角町は過疎債がありますが、その他はありませんので、そういう中で今回の地震における合併市の中で、いちばん合併特例債の恩恵をもらうべくして、この地震によってもらえないと、ダブルの状況、困難にぶつかっているところです。

これは、ありとあらゆる手段云々の中で、国に県に要望しているところです。一月ほど前は衆議院総務委員会の先生方が熊本にお見えになり、その際にヒアリングもありまして、いの一番に私が手を挙げて、この合併特例債の延期もしくは、これが延期になりますと法律改正になりますので、なかなかハードルが高いですが、運用においても少しでもこの不利益をどうにかしていただきたいと、国、県に強く強く要望しているところです。

#### 【「三角西港築港130周年記念事業」について②】

問 130周年記念事業は10月で終わりでしょうか。

答 (事務方) 企画部長です。今年が130周年の年ですが、10月を記念月間と位置付けています。ちょうどこの10月には、2隻の豪華客船が入ってきますので、これと合わせて、1カ月間を記念月間としております。なお、来年は、今のところ、どのような企画でいくのかは、まだ検討しておりませ

ん。

### 【記者会見を開く狙い】

問 この記者会見なのですが、記者会見を開く狙いを改めて伺いたいのと、今後、どのような形で、例えば月に1回とか2カ月に1回とか、こういったペースでお開きになるのかを伺いたいのですが。

答 はい。冒頭に述べましたように、情報発信がなかなか不十分だとのお叱りも受けておりました、今後はしっかりと情報発信をしていきたいと、それも定期的に皆さんがおいでいただけるなら定期的に数多くやっていきたいと考えております。後は事務方からお願いします。

答 (事務方) 市長が発言されたとおりですが、これまで市ホームページやインスタグラム、そういった媒体を通じて情報発信しておりましたが、これまでは、プレスを活用した情報発信がなかなか出来なかった反省を踏まえまして、これから記者会見やプレスリリースを通じ、情報発信力の強化に取り組んでいきたいと思っております。

今回は三角西港の築港130周年記念イベントがありましたので、この行事に併せて本日記者会見をさせていただき、その後は定期的に行っていきたいと思っています。具体的には、12月議会の始まるタイミングに行わせていただいて、12月、その次が3月と4半期ごとにさせていただければと思っております。

答 ナイトクルーズも行いますので、ぜひとも皆さん乗っていただき、もしよかったですらどんどん情報発信していただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

問 もう一つすみません。関連でなんですけども、この市政のトップがこうやって会見を開く理由を、ご自身でどのように考えてらっしゃるのか伺いたいのですけども。

答 これからもどんどんやっていきたいと思っております。ただ、皆さんが集まっていただけないと困りますので、そこで、もう見計らいながら積極的に発信していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【衆議院の解散総選挙について】

問 折角の機会なのでお聞きしたいのですが、衆議院の解散総選挙ですね、選挙の経験者として今回の解散の大義とかですね、あと、どのような感想をもってらっしゃるのか、宇城市にどのような影響がありそうか、そこらへん何かありましたら教えてください。

答 国政の話でございますので、2兆円で教育費にまわって、今日も先程事務協議で話しましたが、保育園が無料になってくれたらいいね、という話ですが、今は国政に対して望むのは、とにかく北朝鮮問題、このまま平和が続いてほしいとただただ願うだけです。

解散につきましては、昨日の講演会ではありませんが、ある国会議員が8月には解散に追い込むとおっしゃって、9月になったら解散が決まって、解散反対だとおっしゃったそうです。まあ、それぞれにそれぞれの立場がおありになるのでしょうから、自分が国政についてとやかく言うことではないと思っております。

答 ありがとうございます。

以上